

## 【2022 全国都道府県対抗男子駅伝大会選手選考基準】

### 1 《目標》

全国都道府県対抗男子駅伝大会の競技成績の向上を図る。

### 2 《具体的目標》

全国都道対抗男子駅伝大会過去最高順位・記録を上回る。

### 3 《スタッフ》

監督（一般担当）	兼箇段 賢	（コザ高等学校（定時）教諭）
コーチ（高校担当）	與那嶺 芳和	（那覇西高等学校教諭）
コーチ（中学担当）	新里 卓之	（与勝中学校教諭）

### 4 《代表選手及び強化選手選考について》

- ① 中学生・高校生・大学生・一般の指導者との情報交換を行い、各種大会の記録等を参考に、都道府県駅伝スタッフが代表選手を選出する。スタッフは、県内中学校、高等学校の情報収集及び県内・外大学・実業団の監督と連携し、情報収集して選手発掘に努める。
- ② 選考は都道府県駅伝スタッフで協議の上選考し、理事会の承認を得て決定する。

### 5 《代表選手選考基準》

#### 【中学校】

- ① 11月26日（土）第一次選考会結果から強化候補選手を選考する。強化候補選手には12月10日（土）二次選考会を実施し、その内容から全国都道府県男子駅伝大会のレースに対応出来る選手を4名選考する。

#### 【高校】

- ① 今年度の5000m公認記録上位者を選考対象として、5～6名程度の選手を選考する。その際、セカンドタイム及び高校生区間の適正等を考慮しスタッフ協議の上決定する。

#### 【大学・一般】

3区（8.5km）、7区（13km）＋2名程度を選考する。

- ① 今年度各競技会及び公認記録会の成績と記録を有する者を選考対象とする。その際セカンド記録及び安定性等も考慮する。
- ② 選手選考を12月に行う。
- ③ 正選手、控え選手の選考については、当日までの状態を確認した上、スタッフで協議の上決定する。
- ④ ふるさと選手については、今年度の競技実績を考慮し選考対象とする。

### 6 継続強化

中高1・2年有望選手については、強化指定選手として選考する。選考選手から1ないし2名をチームに同行させることができる。